

「スギ・ヒノキ」の高品質内装材をアジア諸国へ輸出展開 (池見林産工業 株式会社)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:大分県大分市坂ノ市中央1丁目3-48
- 代表者:取締役社長 久津輪 光一
- 資本金:3,000万円
- 売上高:17億円
- 従業員数:120名
- URL:<http://www.ikemi.co.jp/index2.htm>

①事業概要

<床板、内装材等の製造・販売>

池見林産工業株式会社は、国産のスギやヒノキを使ったフローリング材や壁板などの内装材を製造・販売している。生産量は日本一。

同社の強みは、死に節(木目の穴)を埋める技術。枝打ちした材料をコマ型埋木として補修に使うことで自然な仕上がりを実現している。海外の埋木技術とは仕上がりが全く違う。

また、独自の技術により塗装剤に一切シンナーを使用していないことも同社の特徴。

トレーサビリティにも注力しており、徹底した生産管理を行っている。

②海外展開概要

<中国、韓国等への販路開拓>

平成15年頃、見聞を広める目的で上海の展示会に出展して以降、海外の展示会に出展するようになる。当初は思い通りに輸出は伸びなかった。

平成18年頃から徐々に韓国や中国へ輸出できるようになり、平成22年頃に韓国で「ヒノキは健康にいい」とブームが起こり、輸出量が一気に伸びた。

平成23年には韓国の建材商社と独占販売契約を締結。契約は2年間で、年間40フィートコンテナ28台分(約2億~2億5,000万円)を輸出している。

アジア諸国へ輸出するために、各国を網羅した販売組織体である「IKEMI ASIANネットワークプラン」を構築。各国共に販売ネットのピラミッドを構成し、一次輸入総代理店の下に地域別問屋、複数の販売代理店を展開。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

同社は、海外展示会への出展を続けていく中で、韓国にビジネスチャンスがあることを確認。韓国のオンドル仕様に合わせた床暖房フローリング等の製品を開発することで販路を開拓した。

同社の成功要因は、豊富な日本国産針葉樹の資源量と高い加工技術を基に、各国の趣向や用途にあわせてカラーリングや、加工形状を工夫し、オリジナル製品を提案できること。

④今後の事業展開について

韓国、中国への輸出拡大を図るとともに、シンガポールやタイなどの新規市場開拓を図る。狙うべき市場はまだまだある。



輸出用40フィートコンテナ



上海展示会

(平成24年10月現在)

データ出所:九州経済産業局